

毎日新聞

MAINICHI SHIMBUN

京都版

'09.10.-5

Sラム  
Tー  
Sフォ

# 「革新的技術が必要」

## 「25%削減」へ菅副総理

世界80以上の国と地域、国際機関の科学者や政治家、企業家らが「科学技術の光と影」について議論する「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム」(STSフォーラム)の第6回年次総会が4日、左京区の国立京都国際会館で開幕した。6日まで開かれ、800人以上が参加する。

開会式には、菅直人副総理兼国家戦略担当相が鳩山由紀夫首相の代理として出席。「2020年までに、日本の温室効果ガス排出量を90年比で25%削減するとした」鳩山イニシアチブの目標達成には、既存の技術の活用だけでは達成困難で、革新的な技術の開発と活用が不可欠」とし、「グリーンイノベーション」を提言した。

菅副総理は「植物の(エネルギーへの)利用こそが地球再生の鍵」と強調。「この分野の人材を育成、新たなビジネスチャンスと雇用を創出することで、社会経済を活性化できる」と話した。

【広瀬登】